





SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: かずマネジメントオフィス

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・熊本市の「ゴミ出し3原則(※)」に則り、廃棄物の抑制・分別に取組み、適切な管理・排出に取り組んでいる。(※:①決まったごみを②決まった日に③決まった場所に出す) ・乾電池の分別、ペットボトル、空き缶等の分別・管理、排出している。 ・電力やガソリンなど、エネルギー使用量を把握し、低減に取り組んでいる。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1				
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・オフィスの照明は順次LED化に取り組んでいる。携帯可能な照明は太陽光発電で充電している。 ・エアコンは、運転時に大気中へ放出していた熱エネルギーをチャージ(蓄熱)し、このパワーで設定温度をキープしながら除湿もし続けるものに変えて、省エネ性もアップした。							7.3							13					
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・簡易計算シート等を用いてCO2排出量を算出しており、事務所使用の車両はハイブリッド車を使用し、アイドリングストップ、安全運転をしている。 ・できるだけ公共交通機関を利用している。		2.4						7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15				
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・紙は、FSC認証取得または100%再生紙(R100)を購入している。 ・出張の際、宿泊先の歯ブラシやコームなど使用せず、自分用のものを準備・使用し、プラスチック製品の使用・廃棄の低減に務めている。 ・マイバッグを全スタッフに配布するなど、レジ袋の使用削減に務めている。						6.6									14	15			
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。例:プリントアウトは極力控え、必要な場合は両面印刷・縮尺変更する等。										9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15			
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・「節水」や「汚水等の適切な処理」等を実施している。 ・事業所内設備に「節水」表示し、意識を向上させている。 ・節水の為の改善提案を受け実践している。		2.4					6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15			17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・可能な場合、ISO14001取得企業の製品購入を推進している。 ・環境に配慮した製品の購入(グリーン購入、再資源化している製品)										9.4			12.4 12.5	13	14	15			
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		・食育研修の際、規格外やキズあり野菜等を購入するよう努め、受講者に食品ロス削減の重要性と取組の方法について周知している。 ・オフィスの食事会の際、必ず(100%)小盛メニューや小盛を要求し、食品の廃棄ゼロ・低減となるよう努めている。	1	2					6.4						12.3		14	15			17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		・オフィスのプランターに花を植えたり、執務室には鉢植えの植物を配置し緑化・管理に取り組んでいる。												11.6 11.7		13.1 13.3		15			17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●		・携帯用照明は太陽光で発電するタイプのものを使用している。 ・オフィスの照明は順次LED化に取り組んでいる。 ・エアコンは、運転時に大気中へ放出していた熱エネルギーをチャージ(蓄熱)し、このパワーで設定温度をキープしながら除湿もし続けるものに変えて、省エネ性もアップした。								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●		・ミーティングテーブル・椅子、事務机、一部のキャビネット等は国産木材を使用した製品を使用している。 ・今後のオフィス用品の購入については、森林資源の循環利用に有効な製品であることを優先する計画である。						6				9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●									6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●		・プラスチックの使用削減や環境に優しい素材の使用に取り組んでいる。ボールペンは替え芯を購入し、廃プラの減量に努めている。													12.2 12.5		14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●		・できるだけ車両の使用を削減し、徒歩移動や、公共交通機関の利用を促進している。 ・事務所用車両は、ハイブリッド車である。										9.4		11.2		13.1 13.3					
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13						17.2

